

## 第13回 議会改革調査特別委員会 会議録

---

日 時 令和7年7月1日（火曜日） 午後1時30分 ～ 午後2時45分  
場 所 白杵庁舎議会棟 議会応接室

---

### 出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳                      副委員長 梅田 徳男  
委 員 川辺 隆                      委 員 芝田 英範                      委 員 安東 鉄男  
委 員 甲斐 尊                      委 員 平川 幸司

---

### 欠席委員の氏名

（ な し ）

---

### オブザーバー

（ な し ）

---

### 説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

---

### 出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英    次長 小嶋佳希    書記 原 伸行    副主幹 工藤真里子

---

### 傍聴者

（ な し ）

---

### 協議事項

1. 議会だよりについて
  2. 議員間討議会について
  3. 議会生配信の拡大について
  4. その他
- 

午後1時30分 開議

## 協議事項

### 1. 議会だよりについて

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○副委員長（梅田徳男）

- ・割り当ての内容については十分だと思う。次回以降も、このような形で作成していくので、掲載したい事項があれば知らせてほしい。

**【協議結果】** ・令和7年6月定例会の議会だよりについては、事務局案の通り了承。

### 2. 議員間討議会について

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員（意見）

- ・1人1回1～2分くらいだと議論の応酬ができず、言っぱなしの形となった。議論を深めるのであれば、同じテーマで何度か行う必要があるが、18人だと深めるのは難しいように感じた。
- ・1つのテーマを深めていくのであれば、議員間討議会に担当課（執行部）も同席して意見を交換したほうがよいと思った。
- ・やってみて見えてきた点があり、チャレンジしたことは1つの成果。もう少し続けてみてもよいと思う。
- ・実施前の目的が意見を出し合うことだったので、その目的、意義は達成した。今後、さらに発展させるのであれば、今回の議員間討議会に出た意見の問題点を洗い出し、解決してくべきだと思う。食文化というテーマは、白杵市にとって重要なものなので、引き続き行ってよいと思う。
- ・議員間討議会を始める前は、議長の発案で自由に意見を言おうということで、特に政策提言などにつながらなくても良いということだったが、今回やってみて、18人の議員が集まって、思ったことを言って終わりというよりは、政策提言に結び付ける方向で議論する方向としたほうが良いように感じた。
- ・食文化をテーマとした議員間討議会は、今回で終わるという話ではなかったと思う。議員一人一人が意見を発表する場を作ろうということでやったのが今回の議員間討議会だった。発展的な議論とするため、継続して行うべき。
- ・議員間討議会を行う目的を、政策提言に結び付けていくのか、意見交換を行うだけなのかを明確にするべき。
- ・議員全員での討議は、深めにくい部分があるので、大きなテーマ、「食文化」を例にすると、「発酵」と「醸造」と「土づくり」の3つに分け、各常任委員会にわけて議論を深めるようにするとよいと思う。

- 【協議結果】 ・議員間討議会の「議員全員で一つのテーマについて、議論」する取り組みについて、内容がより発展的なものとなるよう、一つのテーマの議論を深め、政策提言等を目指し、複数回に渡って同一テーマで行うことや、少人数単位（常任委員会単位等）等、今後の実施方法について、議長も交え、継続して検討する。

### 3. 議会生配信の拡大について

#### 実証実験を行う上での注意事項の洗い出しについて

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

#### （1）ケーブルテレビの生放送の拡大について

○委員長（伊藤 淳）

- ・ケーブルテレビの生放送の拡大について、全般にわたって協議可能なのは当委員会なので、実証実験に向けて注意事項の洗い出しを行いたい。項目によっては、議会運営委員会などほかの委員会で協議、方針を決める事項もありえるので、今回は洗い出しに限って行うこととしたい。

○委員（意見）

- ・不穏当発言は、議員の感情に任せた発言や事実と反した発言、他人を特定されるような発言のことだが、不穏当な発言に議員が気づけば、議員発議で休憩をとることができる。6月定例会の中でもそのようになり得るような一般質問があった、ほかの議員の発言にも注意してほしい。
- ・不穏当発言があった場合、懲罰の対象となるので、懲罰に関する規定を整理しておく必要がある。
- ・一般質問の中で、方言や親しみやすさを狙った冗談・ジョーク、歌唱などを行うことは、不穏当発言に当たるのか。  
⇒委員（川辺 隆）※議会運営委員長
  - ・議員の発言は権利なので、不穏当に当たらなければ問題はない。発言の中で不適切な文言などがあれば、不穏当発言となる。
- ・休憩時間の放送の取り扱いについて、どのようにするか検討しておく必要がある。休憩時間といっても、委員会を開催したり、昼食をはさんだり、動議などによる緊急なものなど、形態がさまざまあるので、それぞれ検討しておく必要がある。検討の際は、他市の事例を調査し参考とした方がよいと思う。
- ・注意事項の洗い出しの整理は、議会の運営上の問題となるので、議会運営委員会で行うべきだと思う。
- ・ケーブルテレビで生放送されるのが、現在と同じ議会放送の内容と同じであれば、質問席・登壇席以外の自席の際の放送など、カメラワークについても検討し、取り扱いをあら

かじめ決めておく必要がある。

- ・議会放送の編集については、これまで議会運営委員会で協議し、決定しているため、今回は、注意事項として取り上げる必要はない。

#### (2) YouTubeの配信の実施に向けて

##### ○委員（意見）

- ・YouTubeはより多く目に触れ、拡散する可能性があるため、実施までに、生放送の録画や映像の切り取りなどの対応などの検討が必要。

##### 【協議結果】 (1) ケーブルテレビの生放送の拡大についての注意事項

- ・不穏当発言の共通認識
- ・議事進行上の注意
- ・長時間の休憩時の取り扱い
- ・品位の保持
- ・カメラワーク

##### (2) YouTubeの配信の実施に向けて

- ・生配信の録画、映像の切り取りへの対応

※ 次回の委員会で継続して洗い出しを行う。

#### 4. その他

##### ○委員長（伊藤 淳）

- ・次回開催日は、8月6日（水）13時30分から行いますので、予定願います。

午後2時45分 閉会

---

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和7年7月1日

議会改革調査特別委員会

委員長 伊藤 淳